

普及活動情勢報告（令和5年7月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

やりがいのある甘長とうがらし栽培のために ～甘とう部会目慣らし会の開催～



目慣らし会の様子

6月27日、J A高知県れいほく園芸部土佐甘とう部会の目慣らし会が、J A高知県れいほく支所で開催され、生産者11名が参加しました。

普及所からは病虫害防除や整枝・誘引、草勢管理のポイントを説明し、その後、甘長とうがらしの栽培管理において収量や省力化等で重視する内容と、どの作業が大変かなどを把握する、簡単なアンケートを行いました。

生産者からは尻腐れ対策としてのカルシウム資材の葉面散布方法等について質問がありました。

今後も普及所は、アンケート結果を参考にしながら、やりがいのある甘長とうがらし栽培にするための活動を行っていきます。

今年の農業振興の方向性を話し合いました ～令和5年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会～



活発に意見が出されました

6月28日に、嶺北農業改良普及所会議室で、令和4年度第1回嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表委員4人、関係機関7人が参加しました。

協議会では、「普及指導計画」により本年度の普及所の活動を説明し、「中山間地農業ルネッサンス事業に係る地域別農業振興計画」について情報提供を行いました。続いて意見交換を行い、委員から「後継者問題が深刻」、「常温煙霧の登録拡大を」等多数の意見が出されました。

普及所では、協議会でいただいたご意見をふまえ、地域の農業振興に取り組んでいきます。

日々の取組を見直し！ ～GAP環境点検～



取組内容を確認中！

7月4、5、6日、J A高知県れいほく園芸部はGAP環境点検を開催し、部会役員、J A、町村職員、普及所職員合わせて32名が参加しました。

全生産者75名のほ場を分担して巡回し、高知県GAP第三者確認制度の点検項目に基づき、各ほ場の状況を確認しました。ほ場・調製場所の整理整頓や農作業安全の取組など、生産者自らがGAPを意識した営農を行っていました。一部で農薬保管庫に毒劇物表示がなされていない等の指摘事項もあったため、改善を促し、後日実施状況を確認することになりました。

今後も普及所は、J Aと連携してよりよい農業の実践に向けて支援していきます。

適切な穂肥でさらなる品質・収量の向上を！
～土佐酒造酒米生産者組合現地検討会～



生育状況を確認中

7月7日、土佐酒造酒米生産者組合は本山町と土佐町で現地検討会を開催し、生産者8名、土佐酒造1名、普及所2名が参加しました。

普及所は、水稻の葉色や幼穂長の調査結果を説明し、全員で穂肥の時期や量、今後の栽培管理について検討しました。

生産者からは「今年は朝晩の冷え込みで草丈はやや低めだ」との声があり、また生産者間で穂肥の施用回数について活発に意見交換がされていました。

普及所は今後も、高品質・高収量を目指して、巡回や現地検討会を通じた指導を行っていきます。

ユズ生産の維持拡大に向けて
～令和5年度 第1回嶺北地域果樹産地協議会～



産地調査結果を説明する
普及指導員

7月10日、JAは第1回嶺北地域果樹産地協議会を開催し、生産者代表・役場・JA・普及所から計13人が出席しました。

会では、嶺北産ユズの現状や課題を共有するとともに本年度の活動計画等について協議を行い、普及所からは、管内ユズ生産者の園地情報を取りまとめた産地調査の結果等を報告しました。

出席者からは、無農薬ユズの産地動向調査の進め方、嶺北産ユズのPRなど、様々な意見が出されました。

今後も普及所は、関係機関と連携してユズ生産の維持拡大に向けた取組を推進していきます。